



令和 6 年 1 1 月 2 0 日

第 7 7 回「都民の消防官」表彰について

「都民の消防官」表彰は、産経新聞社の主催により消防の第一線で活躍している職員を対象に、都民の生命、身体、財産を火災等から守るため、長年にわたり職務に精励し、その功労が特に顕著な消防官を選出し、「都民の信頼と感謝を集める人」として広く都民に紹介するため昭和 3 0 年に制定されたもので、これまで 3 5 6 人が受章しています。

1 受章者（詳細は別紙のとおり）

(1) 消防活動功労

日本堤消防署 消防司令補 ^{むらかみ}村上 ^{とおる}透

(2) 救急活動功労

城東消防署 消防司令補 ^{すがわら}菅原 ^{ひろし}浩

(3) 予防業務功労

練馬消防署 消防司令 ^{すずき}鈴木 ^{よしこ}佳子

(4) 機関運用功労

赤羽消防署 消防士長 ^{さこだ}迫田 ^{えつや}悦也

(5) 水難・舟艇業務功労

臨港消防署 消防司令補 ^{なかがわ}中川 ^{ひろし}博至

2 表彰式

(1) 日 時

令和 6 年 1 1 月 2 7 日（水） 1 0 時 2 0 分から（予定）

(2) 場 所

千代田区大手町一丁目 7 番 2 号

東京サンケイビル内 大手町サンケイプラザ 4 階ホール

(3) 主催：産経新聞社

後援：フジサンケイグループ

協賛：三菱地所株式会社、東京ガス株式会社、株式会社サンケイビル

富国生命保険相互会社、一般財団法人東京都消防懇話会

公益財団法人東京連合防火協会、公益財団法人東京防災救急協会

3 その他

(1) 取材の際は自社腕章を着用し、係員の指示に従ってください。

(2) 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

(3) 取材を希望する社は、1 1 月 2 5 日（月）1 2 時 0 0 分までに下記問合せ先まで電話でご連絡ください。

問合せ先

〔東京消防庁 電話 3212-2111〕
〔広報課報道係 2345～2349〕

【消防活動功労】

日本堤消防署 消防司令補 村上 透（むらかみ とおる）

昭和58年9月入庁以来、消防活動一筋に、弛まぬ努力と研鑽を重ね、都民の生命、身体及び財産を守るため日夜尽力しているものである。常に献身的な努力を惜しまず、その卓越した知識技術を職務に反映し、数多くの業績を挙げ、都民の負託に応えている。

性格は、志操堅固にして柔軟性に富み協調性が豊かであり、上司・同僚の信望は極めて厚く、部下からも全幅の信頼を寄せられる人格者である。



【救急活動功労】

城東消防署 消防司令補 菅原 浩（すがわら ひろし）

平成4年4月に入庁し、そのほとんどを救急業務に費やし、都民の生命、身体を守るべく努力を惜しまず、その卓越した知識、技術を発揮している。

モットーは“攻めの救急活動”。これは、自身が若い頃に経験した、傷病者を救えなかった辛い経験を、部下職員にはさせたくないという強い信念からであり、部下職員に対しては、優しさだけではなく、時に厳しくも情熱を持った指導を心掛けている。



【予防業務功労】

練馬消防署 消防司令 鈴木 佳子（すずき よしこ）

平成元年4月入庁以来、予防業務一筋に邁進し、多大な成果をあげている。また、予防業務は元より職員の良き相談役となり、職員の働きやすい職場環境作りに大きく貢献している。

性格は温厚で責任感が強く、仲間との調和を大切に、組織目標を達成する姿や、部下の育成に励みながら実直に業務を遂行し大きな成果を上げる姿に、上司や同僚から厚い信頼が寄せられている人物である。



【機関運用功労】

赤羽消防署 消防士長 迫田 悦也（さこだ えつや）

平成12年に入庁した後、20年に渡りポンプ機関員、はしご機関員、時には救急機関員として各署において活躍を続けている。機関員の職責を果たすべく、日頃からの地理水利調査はもとより、管轄内の建物・警防調査、更には病院調査といった広範囲に渡る各種調査に日々努めている。

一途に職務に向き合う姿は後輩職員への影響力も大きく、機関員としてあるべき姿を言わずと知らしめる存在である。



【水難・舟艇業務功労】

臨港消防署 消防司令補 中川 博至（なかがわ ひろし）

平成6年に入庁した当初から水難救助隊を志し、平成8年に研修が修了してからは水難救助隊員として常に最前線で活躍し、数多くの人命救助に携わり、実績を挙げてきた。

舟艇技術にも秀でており、令和6年4月からは、当庁のフラッグシップである「みやこどり」船長に任命され、精強な部隊の育成を推進し、首都圏4,000万人の生活と経済活動を支える東京港の守りにについている。

